


## 懲戒権濫用の有無に関する面接調査結果報告書

2022年(令和4年)度羊ヶ丘養護園入所児童に対する職員による懲戒権濫用の有無に関する面接調査結果について次のとおり報告する。

令和5年2月4日

苦情処理評価委員(第三者委員)

西尾 さち子 

調査日時	令和5年 2月4日	調査場所	羊ヶ丘養護園
調査委員	西尾 さち子	調査対象 児童	調査時、羊ヶ丘養護園入所 中の児童から無作為抽出し た8名の児童
調査結果	懲戒権濫用はありませんでした。		

## 懲戒権濫用の有無に関する面接調査結果報告書

2022年(令和4年)度羊ヶ丘養護園入所児童に対する職員による懲戒権濫用の有無に関する面接調査結果について次のとおり報告する。

令和5年2月4日

苦情処理評価委員(第三者委員) 伊藤 麻由実



調査日時	令和5年 2月 4日	調査場所	羊ヶ丘養護園
調査委員	伊藤 麻由実	調査対象 児童	調査時、羊ヶ丘養護園入所 中の児童から無作為抽出し た8名の児童

調査結果

今回の聞き取り調査の結果、子供から調査すべき内容の相談があったので、先に職員へ報告、現場へ聞き取り調査をしてもらった結果、懲戒権濫用にあたるものはありませんでした。

これは養護園に限った事ではありませんが、子供達と話しで感じた事は、子供達の覇気が無いという事です。「養護園にどうなって欲しい?」と質問しても、「特にな」いので返ってこない。満足しているとはちよと違う。具体的な夢がない。いや持てないのかもですね。同じ環境で育った私は、子供達の気持ちがよくわかります。だからこそ、これは大きな問題だと感じています。子供達の視線を正面から受ける最前線にいる先生達がバネをひいて、「子供を可愛がる喜び」を持つ事が重要です。それが「信頼」そして「自己肯定感」につながると思います。

マザーテレサは「愛の反対側にあるのは憎しみではなく、無関心です」と言いました。そこには無感バネを持つ事も含めます。決して先生達が悪いと言っているわけではありません。そこは「理解した」上。

養護園で育った子供達の頼る場所は養護園しかないのです。先生は親ではない。家庭に返事が一番の目標。そんな事は子供達だってわかる。だからこそもっと子供達に愛情を注いご欲しいのです。

色々な特性を持った子供達がいる。日々の業務も大変だと思いつつ、子育てしている身として責任が下がります。でも「仕事」と似た事が不信を生む原因の一つです。先生達は「子育てのプロ」ははず。「可愛がる事」を土台に、先生達がバネを一つにし、特別な存在が育っていかって欲しいと切に願います。子供達の明るい未来のために。